

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09030191

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	3 水産業の振興	事業優先度	A	
単位施策	3 消費・流通対策の拡大	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	産地水産業強化支援事業	見直し年度		
事業期間	平成27年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武漁業協同組合	関係課	#N/A	
事業指標	①加工処理施設整備数 ②ほたて桁曳漁業年間生産額(平成31年度目標値)		#N/A	
事業目標	①1施設 ②25億円	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	雄武漁協において行う直営加工施設のEU向けHACCP認定に向けた施設整備に対し、産地水産業強化支援事業(国庫補助金)を活用し、さらに上乗せ補助(8%)を行う。			漁協直営加工処理施設整備《実施設計》 事業費 15,444千円 国庫補助 4,766千円 町上乗せ 762千円	漁協直営加工処理施設整備《工事施工》 事業費 754,247千円 国庫補助 232,792千円 町上乗せ 37,246千円 付帯事務費 201千円 国庫補助 100千円 町実質負担 101千円	漁協直営加工処理施設整備《工事施工》※前年度繰越事業 事業費 753,142千円 国庫補助 232,451千円 町上乗せ 37,192千円 付帯事務費 201千円 国庫補助 100千円 町実質負担 101千円	
	・平成27年度 実施設計 ・平成28年度 工事施工						
計 画 事 業 費	事業費(千円)	275,767	0	5,528	270,239	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	237,658		4,766	232,892		
	道支出金	0					
	地方債	37,200			37,200		
その他	0						
一般財源	909			762	147		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	275,140	0	5,296	0	269,844	
	財源内訳						
	国庫支出金	237,117		4,566		232,551	
	道支出金	0					
	地方債	37,100				37,100	
その他	0						
一般財源	923			730		193	
関 連 事 項	特定財源の名称 産地水産業強化支援事業補助金	【評価・実績】	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) 実施設計 一式 【繰越事業のため評価なし】 ※事務事業評価結果	(実施内容等) 工事施工 一式 ・前年度繰越事業 ※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値			施設整備 1施設	施設整備 1施設	
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	96%	0%	#DIV/0!
		全体達成率	0%	0%	2%	2%	100%
	備考欄						

事業名	産地水産業強化支援事業	評価者	管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者	作成者 職氏名	水産係長	高田 勉

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	漁業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	施設整備		
【抱える課題やニーズは】	オホーツク海全域が対EU輸出ホタテガイ生産海域の指定を受け、漁港の衛生管理施設整備が進められてきたが、加工処理施設が要件を満たしていないため、EU向けHACCP取得工場がない。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	将来的に漁協直営水産物加工物処理施設がEU向けHACCPを取得できるよう、必要となる施設の整備を行う。	① 施設整備	目標年度	平成29年度	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	EU向けHACCP取得による魚価向上により、漁業者の所得向上を図る。また、併せて加工機器の整備により労働力不足の解消やコスト削減を行なう。		目標値	1箇所	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	事業実施団体への補助金の支出	水産物加工物処理施設整備に対する補助金の支出(産地水産業強化支援事業補助金(国費)と町上乗せ補助)	実績値	1箇所	
			達成度	100.0%	
			②	目標年度	年度
			目標値	〇〇	
			実績値	〇〇	
			達成度	#DIV/0!%	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	海外需要の高いほたてのEU向けHACCP対応水産加工物処理施設の整備は、魚価向上により漁業者の所得向上につながるから、支援する必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	将来的にEU向けHACCP取得を目指す施設が計画どおり整備されたことにより、今後、水産物の付加価値向上が図られるとともに、漁業所得の向上も期待される。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	事業実施団体により事業内容の精査が行なわれ、また、国の補助金を活用するとともに、町の補助金についても上限(補助残の8%)を設定し、実施した。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	EU向け輸出は、漁業者全ての所得向上につながるため、公平である。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
EU向けHACCP取得を目指す水産加工物処理施設の整備は計画どおり進められ、当初の目標が達成された。		
今後の展開方向 (Action)	↓	↓
終了		
施設整備については、当初の目標どおり達成されたことに伴い、本事業は終了することとする。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止